

公益社団法人宜野湾青年会議所	
拡大委員会	
委員長 具志 恵	
設置背景	活動エリアである1市2村の人口は増加傾向ではあるが、2019年度のLOMの会員数は22名からのスタートで会員減少が進み、LOMの存続自体が危ぶまれる厳しい現状の中、志が同じうする者が1人でも多く集まる必要がある。
設置目的	1市2村の関係団体と今まで以上に交流や親睦を深め、LOMの認知度の向上を図り組織拡大に繋げ、事業・運動の効果、地域にインパクトを与える団体として50名体制を確立します。
活動概要	1 全会員を対象とした、会員拡大会議を開催します。 2.1市2村の商工会、観光振興協会、社会福祉協議会と連携し、異業種交流会、意見交換会を実施します。
S D G s	8.17
K P I	毎月第2木曜日に全会員を対象に拡大会議を実施します。 1月～11月の間、毎月10名以上の拡大対象者にアプローチし3名の会員を拡大する。 毎月実施する例会にオブザーバーを3名以上招待する。 異業種交流会、意見交換会を年に2回以上実施し、50名以上の参加人数を集める。
IMPACT (影響力)	毎月行われる例会にオブザーバーの方に参加していただくことで、宜野湾青年会議所会員の会員拡大に対する意識が高まり会員数50名達成に向けた動きが加速します。
MOTIVATE (意欲)	(対内) 拡大会議を毎月行い、宜野湾青年会議所全会員の会員拡大に対する意欲を引き出します。 (対外) 異業種交流会、意見交換会、各他団体と親睦を深めパートナーシップの向上を図ります。
INVEST (投資)	1市2村の関係各団体との交流に投資を行い、当会議所の認知度や魅力を高め会員拡大へ繋がります。
COLLABORATE (協力)	JCと1市2村の関係各団体が協力して異業種交流会、意見交換会を行うことにより能動的な拡大運動に繋がります。
CONNECT (つながり)	JCがハブとなり、1市2村の各関係団体と、異業種交流会、意見交換会を実施し、パートナーシップを図り、会員拡大に繋げる。
政策手法	1.入会対象者の吸い上げを行い、リストを作成し情報の共有を図る会員拡大会議を毎月第2木曜日に開催します。 2.宜野湾市・中城村・北中城村の関係各団体と異業種交流会、意見交換会を年に2回以上実施します。
パートナー	宜野湾商工会、宜野湾観光振興協会、宜野湾社会福祉協議会(実施・協力) 中城商工会、中城観光振興協会、中城社会福祉協議会(実施・協力) 北中城商工会、北中城観光振興協会、北中城社会福祉協議会(実施・協力)

# 年間事業フレーム

拡大委員会 委員長 具志 恵

全  
国  
大  
会  
（  
宮  
崎  
）

世  
界  
会  
議  
（  
ゴ  
ア  
）

京  
都  
会  
議  
（  
京  
都  
）

A  
S  
P  
A  
C  
（  
済  
州  
）

サ  
マ  
コ  
ン

全  
国  
大  
会  
（  
富  
山  
）

世  
界  
会  
議  
（  
タ  
リ  
ン  
）

運動・事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全会員拡大会議の開催	引継・企画・立案				実施												検証・引継
異業種交流会の実施	引継・企画・立案						告知・募集	実施	検証・報告	告知・募集	実施	検証・報告	検証・引継				